



明 保 通 信 6月号

西東京市立明保中学校

校 訓 考える学校
教育目標 すすんで学び 心身ともに健康で 思いやりのある人になる

校長挨拶

西東京市立明保中学校長
宮本 尚登



長

期間に渡って、臨時休業が続いていましたが、いよいよ令和2年6月1日(月)より順次、教育活動を再開いたします。西東京市教育委員会の方針に沿って、「分散登校」「時差登校による午前授業」「給食開始」「時差登校による午後までの授業」という流れで、段階的に活動時間を拡大してまいります。本校の具体的なスケジュールは以下のとおりです。

Step1 分散登校		Step2 時差登校 (給食なし)		Step3 時差登校 (給食開始)	
6月1日(月) ~3日(水)	6月4日(木)	6月5日(金)	6月8日(月)	6月9日(火) ~6月12日(金)	6月15日(月) ~6月30日(火)
全員面談	健康診断等	1 年:入学式(午後) 2・3年:時差登校による 午前授業 (給食なし)	時差登校による 午前授業 (給食なし)	時差登校による 午前授業 (給食あり)	時差登校による 午後までの授業 (給食あり)

本校では、手洗いの励行、教室喚起の徹底、消毒の実施、教育活動の見直し等を通して、新型コロナウイルスの感染予防に努めてまいります。

● 本校の取組の一部をご紹介します。

- ・手洗いを徹底させるために、「手洗いタイム」を設けて、定期的にチャイムを鳴らします。
- ・本校の第2学年は、1クラスあたりの生徒数が多いため、6月19日(金)まで、3学級を4学級に変更します。このことで、期間限定ではありますが、全学年35人以下の学級編成とします。
- ・生徒が手を触れる箇所(ドアノブ、手すり、スイッチ等)を中心に、教職員が毎日、消毒を行います。
- ・給食の時間は、グループではなく、自席で前を向いて食べるようにします。
- ・教員はマスクを着用して授業を行います。内容によっては、口の形や表情等が見えないことで指導に支障が生じる可能性があります(英語の発音の指導等)。そのため、教員用の「フェイスシールド」を準備します。

本校では、「生徒ファースト(感染予防&心の健康)」「国や市の方針の遵守」「保護者の不安解消」の3点をベースに対応してまいります。

各ご家庭等におかれましては、手洗いの徹底、マスクの着用、毎朝の検温の実施等について、引き続き、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。また、体調が優れない際は大事をとって無理に登校することがないようご留意いただきたく存じます。

ご存じですか？「通級指導学級・K組」について

明保中の自慢です！（校長 宮本尚登）

特別支援教育は、「特別」な教育ではありません。生徒一人一人に対して、その子に適した支援を行う。当然のことです。視力を矯正するために、眼鏡をかけるのと同じです。

しかし、個に応じた支援を行おうとすると、いつの時代も拒絶されることがあります。

例えば、習熟度別授業を導入した際もそうでした。導入当時は、発展コースに人気が集まり、標準コースや基礎コースは、敬遠される雰囲気がありました。おかしな話です。自分に合わないコースで苦勞するより、自分のペースに合った授業を受け、1つずつ基礎・基本を確実に身につけていく方が良いことは言うまでもありません。

本校には、通級指導学級K組が設置されています。K組は、コミュニケーションや対人関係、集団参加の力を学ぶ場です。大人になったとき、必ず必要となる力です。

もし、担任からK組の利用を勧められた際は、ぜひ、前向きにご検討ください。（*）

なぜなら、本人の将来を考えたときプラスになる場合が多いからです。そして、K組は明保中の自慢の1つだからです。

（*）入級は、専門家による審議（就学支援委員会）の結果で判断されます。従って、希望した方全員が入級できるわけではありません。なお、来年度からは、特別支援教室（仮称中学L教室・仮称中学S教室）として指導を行います。

こんな指導をしています！（K組主任 爲藤明子）

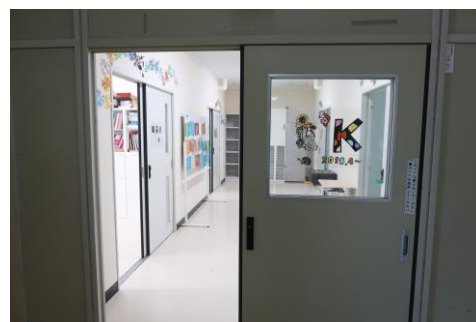
人は誰でも、苦手なことがあります。苦手なことの中には、自分の努力で克服できることもあれば、そうでないこともあります。「努力もしているけれど、なぜかうまくいかない。」という経験はありませんか？例えば、「いつの間にか自分の話ばかりしてしまって、友達と楽しく会話できない。」「仲良くしたいから近くにいるだけなのに、友達からは『近すぎる』と言われてしまう。」「集中して授業を受けようと思っているのに、どうしても最後まで集中できない。」「テスト勉強をやってはいるけれど、なぜか毎回提出物が終わらない。」などなど…。

こういう場合、誰かの助けを借りたほうが、早く解決できます。

K組の授業では、教員と生徒1対1の「個別」の授業と、3～4人ぐらいの小さい集団で行う「小集団」の授業があります。「個別」の授業では、教員と話をすることで、自分と向き合い、上手いかわからないことの解決方法を探っていきます。また「小集団」の授業では、ゲームや話し合い活動、作業等を通して、友達同士で、互いにアドバイスし合います。「どうしていいかわからなかったけれど、優しく教えてもらえた。」「自分の説明を真剣に聞いてくれて嬉しかった。」等、良かったところを伝えてもらったり、「今の言い方はきつく感じる。」「その説明だとわかりにくいよ。」等、改善点も伝えたりします。普段は、友達から直接アドバイスしてもらうことは少ないと思いますが、K組の授業を通して、自分の良いところ、直した方がいいところに気づくことができます。

こうした授業を毎週、積み重ねていくうちに、自分のことが良くわかるようになります。そして、苦手なことに対して、自分なりの解決方法を見つけたり、得意なことに対して、より自信を持って取り組めたりできるようになります。

私たちK組の教員は、指導方法について研究を重ね、日々、指導力の向上に努めています。引き続きK組の教育活動にご理解・ご協力の程、よろしく申し上げます。



K組の出入口